

参考 3**第5回文化芸術推進計画策定ワーキング 意見の概要 (R1. 7. 23 開催)****1. 資料1「令和元年度文化芸術推進計画策定スケジュール」について**

- ・質問、意見等はなし。

2. 資料1～資料4について

Q: 文化芸術と連携させる関連分野に「福祉」があるが、具体的にどのような福祉を想定しているか。

A: 高齢者福祉、障害福祉、児童福祉等、福祉分野も様々である。文化芸術基本法の中では他分野との連携とあるのみで、細かくは示されていない。各自自治体の現状と照らし合わせて、連携させるもの各々考えていく必要がある。

3. 基本理念について

- ・「大井川の恵みが育んだ文化芸術を紡ぎ、～」とあるが、「育んだ」と過去形では計画が出来た時点で既にあるものを紡ぐことになる。今現在、生まれているものを含め、前に進んでいくことを示したほうが良い。過去形の「育んだ」よりing形の「育む」で良いのではないか。

4. 視点について

- ・地域の資源をまず守ってから育むという考え方良い。「まもる、はぐくむ、つくりだす、つなげる」の順とする。

5. 施策の柱と施策について

- ・基本理念の「大井川の恵み」は島田の特色を表現していると言えるが、施策の柱にこのような特色が表現されていない。島田の特徴、島田らしさをもっと出した方が良い。
- ・豊かな自然や景観が島田の特色ではないか。
- ・基本理念に「大井川の恵み」とあるが、大井川の歴史には氾濫等恵みといえないようなこともある。このようなことを受け入れてきたことも踏まえ、ユニバーサルといった視点も表現していくことが必要。
- ・受容性や慣用さといった点が島田の目指すべきことになるのではないか。
- ・合併を経ているため、島田市内に島田らしさ、金谷らしさ、川根らしさがある。文化も違うものと捉えている辺をどう結びつけ、表現していくかは難しい。
- ・施策の柱1～9を貫く楯となるような言葉が必要ではないか。
- ・基本理念の下にテーマのようなものを示すことで、施策の柱に特色を出しやすくなるのではないか。数年後にどんなまちにしたいか、具体的なテーマを示してはどうか。
- ・基本理念にある「心豊かになれるまち」をキーワードに施策の柱を表現しても

良いのではないか。

- ・「心豊か」は使いやすく、他市町でも多用されている。「島田にとって心豊かになるとはどのようなことか」を紐解くと島田らしさが表現できるのではないか。
- ・施策の柱や施策の中に「地域」という言葉が多くある。郷土や地域等を「大井川」に置き換えたり、追加したりすることで、島田の特徴として表現できるのではないか。
- ・ハード的なものと生活習慣的なもので言葉を使い分けることもできるのではないか。
- ・川越遺跡等の歴史資源や SL 等の観光資源、大井川を軸とし、観光と繋げることで見えてくるものはたくさんある。
- ・観光の視点で島田市を捉えた場合、東西の交流拠点になり得るか。
- ・静岡空港、賑わい交流拠点（第2東名 IC）から島田に入って、島田または周辺の観光を楽しんでもらうというコンセプトはあるが、交流は東西に限ったことではない。
- ・観光と文化が直ぐには結びつかない。
- ・お茶以外で島田の生活文化は直ぐに思いつかない。
- ・「7文化芸術を活用した地域課題へのアプローチ」の下に繋がる施策として「社会包摂につなげる文化芸術活動の促進」がある。「社会包摂」の概念は大きく、施策の柱と施策で捉える範囲が逆転している。社会包摂という言葉が無理に使わなくてもいいのではないか。

6. 施策の柱、施策の説明について

- ・この計画が市の行う事業の施策集のようにならないように、主語を示すことのできる場所は主語を入れた方が良い。市民と一緒にやらなければならないことは、「市民」という言葉を入れることで方向性を示す。
- ・1-①「学校教育、社会教育との協働」は学校教育、社会教育と誰が協働するのか、示す必要がある。部署と部署との協働といったイメージがある。
- ・協働といった言葉よりも、もっと自然体で事業を進めていくことを示した方がよい。
- ・1-①にある「出前事業」については、職人が学校に来てキャリア教育等を行い、「コミュニティ・スクール」については、今年度2校をモデル校として推進している。令和2年度から全校で実施する。学校教育の中では、夢育・地育といった視点を持ち、地域の方が学校に入るとともに、生徒が地域に入り込むという手法で進めている。
- ・2-③「団体の活動拠点となる博物館や文化施設、公民館、図書館等」という説明があり、団体の活動拠点の例示の先頭に博物館がある。博物館は貸館等は行わないので、団体の活動拠点の例示としては、公民館等が最初ではないか。

- ・「文化施設」については、ホール機能があるか等、機能や規模を定義して示した方が良い。
- ・資料2-2、2-3を見ると、「3人材の獲得・育成・活用」に関連する事業が少ないように思う。この計画に明記すると新しい事業を立ち上げることになるが、良いか。
- ・現実的にどういう形になるか今現在分からないが、目指すべきところとして位置づけ、推進すべきである。

7. 施策レイアウトについて

- ・民間主体の事業例を掲載することとして資料を作成しているが、全ての事業を網羅できないという問題がある。
- ・事業を行っている団体等は事業が掲載されることを喜んでもらえると思う。なるべく多くの事業を掲載した方が良い。イベント名だけの羅列でもいいのではないか。
- ・「民間主体の事業例」を少し柔らかい言葉で表現した方が良い。「民間」を「地域」や「まちづくり団体」、「事業例」を「取り組み事例」等としてはどうか。
- ・事業例の中に、何年も続いている事業と1、2年しか行われていない事業があるが、数年しか実施していない事業について、事業の継続が心配される。
- ・継続年数等について基準を設け、掲載する事業を選定して良いのではないか。
- ・大代ジャンボ干支の写真の出典元「島田市博物館 HP」ではない方が良い。王子田会から写真をもった方が良いのではないか。
- ・事例の紹介では、行政のページと地域主体の取り組みの項目を揃えた方が良い。

8. その他

- ・今後、資料2-3にある関連事業について洗い出しを行うため、全課に照会するので、ご協力をお願いしたい。